

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 12 月 24 日 (2009.12.24)

【公開番号】特開 2007-181207 (P2007-181207A)
 【公開日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-026
 【出願番号】特願 2006-348805 (P2006-348805)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 7/00 (2006.01)

H 0 4 J 3/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 7/00 Z

H 0 4 J 3/06

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 11 月 10 日 (2009.11.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 のノード (1 3 2) から同期プリアンプルを有する通信信号を送信するステップと、

前記第 1 のノードと少なくとも 1 つの第 2 のノードとの間の通信の同期をとる (1 3 2) ために、少なくとも 1 つの第 2 のノードの局部クロックを前記同期プリアンプルに従って設定するステップと、

前記第 1 のノードと少なくとも 1 つの第 2 のノードとの間で、追加のプリアンプルなしに、特別なスイッチポイントが生じる (1 3 6) まで後続のデータ通信を交換する (1 3 4) ステップと、

前記特別なスイッチポイントが生じた (1 3 6) 後は、データ通信に続く減少した時間同期正確度の期間を利用する情報を交換する (1 3 8) ステップと、を含む通信 (1 3 0) の方法。

【請求項 2】

残余時間同期期間中に生じる情報交換 (1 3 8) を開始するため残余スイッチポイント (1 3 6) をノードに発行するステップと、

前記残余スイッチポイントに応答して各ノードのスケジュールタイマを開始する (6 0 2) ステップと、

受信されたスケジュールの選択スケジュールエントリおよび各ノードのスケジュールタイマに基づいて各ノードでアクティビティを実行する (6 0 4) ステップと、を含む残余時間同期期間中のノード間通信の方法 (1 3 0 、 6 0 0) 。

【請求項 3】

通信ノードのクロック動作に適合される局部クロック (3 0 6) と、

通信信号を選択的に送信および受信するように適合される送信器 / 受信器回路 (3 1 6 、 3 1 8 、 3 2 0) と、

前記局部クロックを別の通信ノードからの受信通信信号に同期させて、前記通信ノード間で通信を確立するように適合される同期回路 (3 0 5) と、

前記送信器 / 受信器回路 (3 1 6 、 3 1 8 、 3 2 0) および前記同期回路 (3 0 5) を

制御し、前記通信信号を処理し、ある期間の間、前記局部クロック（３０６）を再同期化することなく前記通信ノード間の通信を行い、特別なスイッチポイントに応答して情報を交換するように適合されている制御回路（３１４）と、を含む通信ノード（３００）。